

平成21年度文化芸術振興費補助金
(芸術創造活動重点支援事業)



モーツアルト室内管弦楽団 第133回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester / 133. Regulärkonzert

〈創立40周年記念シリーズ〉第7回

〈モーツアルト・オペラシリーズ〉第9回

《後宮からの誘拐》K.384

„Die Entführung aus dem Serail K.384“

2010年1月10日(日)午後3時 ■ いずみホール

Sonntag, 10. Januar, 2010, 15:00Uhr. Izumi Hall, Osaka

■主催：モーツアルト室内管弦楽団 <http://www.hi-ho.ne.jp/mozart/>

■協力：堺シティオペラ

■協賛：いずみホール〔財団法人 住友生命社会福祉事業団〕

■マネジメント：大阪アーティスト協会 E-mail:artists@gol.com

〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909 Tel 06-6135-0503



本公演は日本ユニセフ協会に賛同し、ロビーでは世界の子供達のために募金活動なども行っています

モーツアルト室内管弦楽団

第133回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester/133. Regulärkonzert

2010年1月10日(日)午後3時■いずみホール

〈創立40周年記念シリーズ〉第7回

〈モーツアルト・オペラシリーズ〉第9回

《後宮からの誘拐》K.384

W.A. Mozart : „Die Entführung aus dem Serail“

台本：クリストフ・フリードリッヒ・ブレッナー（原作）

ヨハン・ゴットリープ・シュテファニー（改作）

全曲／演奏会形式上演／日本語字幕・せりふ付（制作：門 良一）

コンスタンツェ：津山 和代（ソプラノ）

ベルモンテ：西垣 俊朗（テノール）

プロンデ：高嶋 優羽（ソプラノ）

ベドリッコ：二塚 直紀（テノール）

オスミン：松下 雅人（バス）

セリム：要 冷藏（語り役）

合 唱：モーツアルト記念合唱団

合唱指揮：益子 務

管 弦 楽：モーツアルト室内管弦楽団

コンサートマスター：釋 伸司

指 挥：門 良一

制 作：益子 務、門 良一

次 回

〈モーツアルト・オペラシリーズ〉第10回

《コジ・ファン・トゥッテ》K.588

2011年1月23日(日)午後3時 いずみホール

序 曲

第1幕

- No. 1 アリア(ベルモンテ)「何としてもここで君に会うのだ」
No. 2 リートと二重唱(オスミン、ベルモンテ)「気立てがよくて浮氣でなくて」
No. 3 アリア(オスミン)「こいつら風来坊のすることは」
No. 4 レシタティーヴォとアリア(ベルモンテ)「コンスタンツェ！コンスタンツェ！」
—「おお、何と不安げに、何と火のように」
No. 5 合唱(トルコの近衛兵たち)「偉大なる太守を讃えて歌おう」
No. 6 アリア(コンスタンツェ)「ああ、私は恋をしていました」
No. 7 三重唱(オスミン、ベルモンテ、ペドリッロ)「行け行け行け！とっとと失せろ！」

* * *

第2幕

- No. 8 アリア(ブロンデ)「娘の心をとらえるのは」
No. 9 二重唱(オスミン、ブロンデ)「それじゃ行くが、忠告しておくぞ」
No. 10 レシタティーヴォとアリア(コンスタンツェ)
「運命が私たちを引き裂いたあの日から」—「悲しみが私の運命となりました」
No. 11 アリア(コンスタンツェ)「ありとあらゆる責め苦が私を待ち受けているよ」と
No. 12 アリア(ブロンデ)「何という喜び、何といううれしさで」
No. 13 アリア(ペドリッロ)「さあ、戦うんだ！」
No. 14 二重唱(ペドリッロ、オスミン)「プラボー、バッカス！」
No. 15 アリア(ベルモンテ)「喜びの涙が流れるとき」
No. 16 四重唱(コンスタンツェ、ベルモンテ、ペドリッロ、ブロンデ)
「ああ、ベルモンテ！私の命よ！」

* * *

第3幕

- No. 17 アリア(ベルモンテ)「おお愛よ 私はお前の強さにすがり」
No. 18 ロマンツェ(ペドリッロ)「モールの国にとらわれたかわいい娘があったとさ」
No. 19 アリア(オスミン)「おお、おれはどんなにかちどきをあげることだろう」
No. 20 レシタティーヴォと二重唱(ベルモンテ、コンスタンツェ)
「何という運命だ！胸が痛む！」—「私のために君は死なねばならない！」
No. 21a ヴォードヴィル(コンスタンツェ、ベルモンテ、ペドリッロ、ブロンデ、オスミン)
「ご恩は決して忘れません」
No. 21b 合唱(トルコの近衛兵たち)「太守セリム万歳！」

※都合により一部出演者が変更となりました。どうぞ了承下さいませ。



門 良一 ● 指揮

Ryoichi Kado, Dirigent

1939年大阪生まれ。フルートを曾根亮一氏に、指揮法を青山政雄氏に師事。62年京都大学理学部卒業、67年同大学院修了。70年同志とともにモーツァルト室内管弦楽団を創立、常任指揮者となり現在に至る。87年、モーツァルトのピアノ協奏曲全27曲、交響曲全74曲の連続演奏完結に対し、モーツァルト室内管弦楽団とともに第5回藤堂音楽賞を受賞。現在、NHK大阪文化センター、同神戸文化センター「モーツァルトを聴く」講師。京都産業大学教授。



津山和代 ● コンスタンツェ, ソプラノ

Kazuyo Tsuyama, Konstanze, Soprano

大阪音楽大学卒業、同大学専攻科修了。東京音楽大学研究科オペラコース修了。東京二期会オペラスタジオ修了。畠中良輔、福澤アクリヴィ、大森地塙の各氏に師事。二期会オペラスタジオ修了公演では「こうもり」のアデーレを演唱。関西二期会では「アルバート・ヘリンク」ワーズワースでデビュー。その後「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ、「ラ・ボエーム」ミミ、「椿姫」ヴィオレッタ、「ラインの黄金」フライア、「こうもり」ロザリンド、「オルフェオとエウリディー・チエ」エウリディー・チエ、「ダイドとエヌアス」ダイド、「アルチーナ」アルチーナ、など数多くのオペラに出演。いずれも好評を得る。また第九、トイツレクイエム、メサイア、ハイドン「天地創造」、ドヴォルザーク「スター・バト・マーテル」、モーツァルト「レクイエム」、モーツァルト「ハ短調 大ミサ」、ラター「レクイエム」のソリストを務める他、NHK-FM録音など各種演奏会に出演。チリ国際音楽コンクール第2位、二期会オペラスタジオ優秀賞。東京文化会館推薦オーディション合格。現在、同志社女子大学講師、堺女子短期大学専任講師。関西二期会、京都フランス歌曲協会、堺シティ・オペラ各会員。



西垣俊朗 ● ベルモンテ, テノール

Toshiro Nishigaki, Belmonte, Tenor

大阪音楽大学大学院修了。在学中より宗教曲に手を染め、カンタータオラトリオの演奏には欠かせないコンサート歌手として活躍。特にバッハの「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」等のエヴァンゲリスト歌いとして高く評価されている。オペラでは、1976年東京オペラ・プロデュース公演のロッシーニ「オリー伯爵」でデビューし、その後、ロッシーニ・テノールとして「セヴィリアの理髪師」「オッテッロ」「チェネレントラ」に出演。特に「セヴィリアの理髪師」のアルマヴィヴァ伯爵役には定評がある。またモーツァルトのオペラも得意としており、モーツァルトの五大オペラ「魔笛」、「ドン・ジョヴァンニ」、「コジ・ファン・トゥッテ」、「フィガロの結婚」、「後宮よりの逃走」全ての主役に出演。関西二期会と大阪音大オペラハウスのこのシリーズで好演している。大阪音楽大学講師。



高嶋優羽 ● ブロンデ, ソプラノ

Yuha Takashima, Blonde, Soprano

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、大阪音楽大学専攻科声楽専攻修了。オペラはG.ガッツアニアガ「ドン・ジョヴァンニ」、「ドン・エルヴィラ」でデビュー。これまでに「魔笛」夜の女王、「童子I」、「フィガロの結婚」スザンナ、「リゴレット」ジルダなどを演じ、近年では東京室内歌劇場公演「後宮からの逃走」ブロンデ、関西二期会「ナクソス島のアリアドネ」ナヤーデで新国立劇場に出演。また、NHK-FM「名曲リサイタル」出演や、ヘンデル「メサイア」、バッハ「狩猟カンタータ」、モーツァルト「戴冠式ミサ」、「レクイエム」、ベル格レージ「スター・バト・マーテル」等の宗教作品ソリストを務める他、オーケストラとの共演多数。09年11月には関西二期会「フィデリオ」のマルツェリーネに出演予定。

関西二期会準会員、関西歌曲研究会・西宮音楽協会各会員。渡邊弓子氏に師事。



二塚直紀 ● ペドリッロ, テノール

Naoki Nizuka, Pedrillo, Tenor

大阪芸術大学卒業。関西二期会オペラスタジオ修了。仁禮義子氏、木川田 誠氏に師事。第15回抵津音楽祭聴衆審査賞受賞。第32回イタリア声楽コンクール入選。第23回阪堺新人音楽コンクール第1位。平成16年度大阪舞台芸術新人賞受賞。『フィガロの結婚』クルツィオ役でオペラデビュー後、「ラ・ディヴィーナ」若手指揮者、「マリツア伯爵夫人」タシロ、「ボッペアの戴冠」ネローネ、「メリーワイドウ」カミーユ、「こうもり」アルフレード、「春琴抄」利太郎、「ジャンニ・スキッキ」リヌッチャ、「ドン・ジョヴァンニ」オッターヴィオ、「ファルスタッフ」フェントン等に出演。また、ベートーヴェン『第九』メンデルスゾーン『交響曲 第2番』、クルト・ヴァイル『ベルリン・レクイエム』、ブルックナー『テ・デウム』のソリストをつとめる。現在、関西二期会会員、びわ湖ホール声楽アンサンブル専属歌手。



松下雅人 ● オスミン, バス

Masato Matsushita, Osmin, Bass

国立音楽大学音楽学部声楽科首席卒業及び同大学院音楽研究科声楽専攻オペラ修了。矢田部賞受賞、読売新人演奏会、桃華樂堂御前演奏会に出演。ロータリー財団奨学生としてモーツアルテウム音楽院に留学。その後、ボン歌劇場専属バス歌手として契約を結び、エディタ・グルヴェローヴァ、ルネ・コロ、ビエロ・カッブチルリ等の著名な演奏家と共に、200回以上の舞台を踏み、新聞・雑誌等で好評を得る。帰国後、関西二期会オペラを中心に「ワルキューレ」ファンディングほか、日生劇場オペラ「後宮からの逃走」オスミン、びわ湖ホール「ドン・カルロ」、大阪フェスティバルホール「タヌキ悲恋」、と様々な役柄に出演。「魔笛」ザラストロは指揮者・演出家から絶大な信頼を得、全国各地で好演、バス歌手として最も活躍している一人である。また『第九』「メサイア」等のソリストとしても定評がある。庄智世恵、ルドルフ・クノール、宫廷歌手ハンス・ゾーティンの各氏に師事。日本演奏家連盟会員、関西二期会会員、名古屋音楽大学准教授。愛知県立芸術大学講師。



要 冷蔵 ● 太守セリム, 語り役

Reizou Kaname, Bassa Selim, Sprechrolle

劇団往来座長

劇団往来旗揚げ公演'85よりフル出演

関西芸術座演劇研究所卒業

京橋テント芝居「F.W.F日本三文オペラ」

中座「陽だまりの樹」(新劇団協議会プロデュース公演)

ストップ・エイズ・クリスマス ミステリーシアター(麻倉未稀と共演)

喜劇「秋田實物語」(夢路いとし・喜味こいしと共演)



モーツアルト室内管弦楽団 Mozart - Kammerorchester

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、39年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツアルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツアルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケ

ストラであり、創立当初から新モーツアルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツアルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツアルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠として定期演奏会を、また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ビリス('85、「87年)、シブリアン・カツァリス('93、「94年)、ペーター・ダム('83、「86、「88、「98、「00年)、ウイーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キュッヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツアルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、「93年には堺シティオペラとの協力による〈モーツアルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツアルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「すばらしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。2007年より(没後200年記念ハイドン・シリーズ)を、2009年からは〈創立40周年シリーズ〉を始めている。

モーツアルト室内管弦楽団／出演メンバー

コンサートマスター●釋 伸司

第1ヴァイオリン 釋 伸司	原田 潤一	三宅 香織	倉 永晴美
中川 衛子	池内 美紀	コントラバス 関 一平	藤原 雄一
稲庭 真理子	納庄 麻里子	中村 公美	小坂 智美
北村 奈美	ヴィオラ 道幸 明美	フルート 大江 浩志	森下 智念
森住 憲一	森永 愛子	本庄 ちひろ	池田 悠人
菊池 優理	三上 哲	オーボエ 戸田 めぐみ	ティンバニ 泉 純太郎
中野 瑞己	高野 ちか子	忽那 有紀子	シンバル 山縣 雅志
第2ヴァイオリン 本多 智子	チエロ 日野 俊介	クラリネット 高橋 博	トライアングル 濱住 まだか
清水めぐみ	仙波 房子	門 小夜子	バスドラム 出口 智子
川島 多美子	D. Fischer	ファゴット 佐伯 利之	

ステージマネージャー 鈴木秀一郎 (エスエス企画)



モーツアルト記念合唱団 (合唱指揮●益子 務)

Mozart-Choral Ensemble (Chor-Dirigent / Tsutomu Masuko)

「本番のステージで柔軟に音楽をすることのできるプロフェッショナルなコーラスがほしい」という、モーツアルト室内管弦楽団の要望を受け、特別に編成された合唱団。女声は堺シティオペラの選抜メンバー(若手プロ)を中心に、男声は合唱王国関西の著名合唱団の指揮者、パートリーダー、クラスに参加を要請、1991年7月末に発足し、益子 務氏の指揮のもとに練習を開始した。同年12月モーツアルト室内管弦楽団のモーツアルト没後200年記念第48回定期演奏会で「レクイエム」を協演、それ以後、ミサ、オラトリオ、オペラなどで毎年協演し、中でもモーツアルト「ハ短調大ミサ」、「救われたベトゥーリア」、「イドメネオ」、ハイドン「天地創造」、「四季」、ヘンデル「メサイア」、ベリオリーズ「キリストの幼時」などは絶賛を浴びた。'93年には初の単独自主公演としてジャニース・ワグナー氏を客演指揮者に迎え「ロジェ・ワグナー・メモリアルコンサート」を開催、大好評を得た。'98年、「00年の2回、ベルギー・フランドル政府の招きにより文化交流使節としてベルギー演奏旅行を行い、大成功を収めた。'00年、創立10周年記念としてCD「ロッシーニ：小莊嚴ミサ」をリリース。

モーツアルト記念合唱団／出演メンバー

合唱指揮●益子 務

ソプラノ 植木 奏子	関 夏希	錢田 美幸	友金 郁子	御池あゆみ	山本 真紀
アルト 以倉 安希子	井村 園子	大矢喜久子	金田智津子	佐野 康子	中根 佳江 林 理恵
テノール 桑田 明和	近藤 達夫	陶山 悟嗣	豊田 千之	古川 完	
バス 小畠 博	ジョン・バーンズ	野村 透	林 龍太郎	ピーター・ワイン	藤巻 恵
練習ピアノ 岡田 千絵					
字幕オペレーター 横家 愛恵					

オペラ「後宮からの誘拐」 愛はすべてに勝つ

「後宮からの誘拐」の筋は簡単です。海賊に拉致されてトルコの太守セリムの後宮に売られた恋人コンスタンツェを救出しようと、ベルモンテが後宮へ潜入して共に囚われの身だった従僕のペドリッコと召使のブロンデと謀って逃亡計画を練ります。

モーツアルト最初の本格的なドイツ語による台詞入り歌芝居(ジングル・シユピール)ですが、モーツアルトはオペラ執筆時の1781年から82年にかけて、ウェーバー家の三女コンスタンツェと恋愛中でした。ブルグ劇場での初演は1782年7月16日でしたが、8月4日には父親の反対を押し切って聖シュテファン大聖堂で結婚式を挙げています。恋人の実名が読み込まれた「後宮からの誘拐」はコロレド大司教と対立して故郷ザルツブルグを出奔して、ウイーンで運だめしに出たモーツアルトの画期的な恋愛喜劇の第一弾でした。

コンスタンツェの無事を聞かされ喜ぶベルモンテの「コンスタンツェよ、また会えるとは」(第4番)はモーツアルトがシュテファニーの台本を手にして最初にできたアリアです。太守セリムはコンスタンツェが気に入って口説きに通いますが、彼女は恋人がいたことを理由に受け入れません。コンスタンツェのアリア「私は恋をし、幸せでした」(第6番)はベルモンテのアリアと対で早々に仕上がりました。若い日のモーツアルトが夢中になったコンスタンツェへの恋愛に対する感情移入が読み取れます。

さらに太守セリムの後宮はヨーロッパ文化圏とは対極にあるトルコ、つまりはイスラム文化圏を象徴しているところが今日でも面白いトピックだといえるでしょう。ウイーンを包囲したオスマン・トルコ軍をオイゲン公が撃退してから一世紀、当時のトルコはウイーンの異文化体験を代表する国で、「トルコ行進曲」も異国情緒のファッショナブルに乗った音楽でした。さらにヨーロッパの先進性を代表するのがイギリス人で、その新しい世界観は女性の自由に象徴されます。いうなれば文明の衝突の原型ですが、具体的には後宮の番人オスミンに対するコンスタンツェの召使ブロンデの主張に現れるところが意味深長です。彼女のアリア「乙女心を捕えるには」(第8番)にはヨーロッパの女性の自由への条件が具体的に歌われています。「こまやかな愛情、やさしさ、親切な心、そしてユーモア」とあり、さらに「えらそうに命令したり、怒鳴ったり、ののしつたり、いじめたりすれば、いく日もしないうちに愛情も操も逃げてしまう」とは現代のフェミニズム思想を先取りしているではありませんか。ブロンデとオスミンの対話は文明とジェンダーの不条理を笑うコミックな場面になっています。

ドラマの構造は太守セリムに対するコンスタンツェとベルモンテの主人側と、オスミンに対するブロンデとペドリッコの従者側のダブル・プロットになっていますが、後宮に幽閉されたという状況からすれば、太守セリムとコンスタンツェ、オスミンとブロンデの関係に対する疑惑と嫉妬がベルモンテとペドリッコの心を煩わします。しかし4人の恋人がそれぞれの思いを歌う四重唱(第16番)も、男たちが疑惑を詫びて愛の賛歌で終わるところがこのオペラの真骨頂ともいえるでしょう。なぜなら「フィガロの結婚」から「コシ・ファン・トゥッテ」を経て「ドン・ジョヴァンニ」にいたるモーツアルトの恋愛喜劇は男と女の関係が疑惑と嫉妬を核にして複雑怪奇に変容することを描くことになるからです。

逃亡決行の夜、セレナードに誘われてコンスタンツェはベルモンテの手引きで途中まで逃げたところで捕まります。太守セリムの前に引立てられて、ベルモンテの父が彼の仇敵であることがわかり、ベルモンテとコンスタンツェは処刑を覚悟して愛の二重唱「私のためにお前は死ななければならないのだ」(第20番)を歌います。しかし太守セリムは仇を報いるに仇をもってせず、ベルモンテを釈放して4人の帰国を認めるという「寛容」な心で、オペラは4人の出帆でめでたく幕になります。この結末は喜劇らしい予定調和なのでしょうか。「誘拐」という題名には疑問も多く、日本では「逃走」のほうがドラマの本質を捉えているという説が有力ですが、太守セリムの立場からすればベルモンテは後宮から女性を「誘拐」したのであり、オスミンの唱える罪状も正にそこにあります。さらに太守セリムの寛容な処置はブルグ劇場を拠点にドイツ語のジングル・シユピールの創作を奨励した新しい皇帝ヨーゼフ2世の地位と期待に応えるためだったということであれば、モーツアルトの多彩な才能は単に作曲に留まらなかった証拠にもなるでしょう。

日本語字幕・せりふについて

門 良一

今回の字幕およびせりふ台本の作成にあたっては、渡辺 譲、西野茂雄、海老沢 敏各氏の対訳を参考にさせていただきました。なお、今回は演奏会形式上演もありますので、せりふは原作から大幅にカットしております。

「後宮からの誘拐」協賛者

『後宮からの誘拐』の上演に際し各方面に協賛のお願いをいたしましたところ、多くの方々からご賛同を得ました。ここにご芳名を記載させていただき謹んで謝意を表します。ありがとうございました。

高松建設株	金定秀光	深田晴世	岡田豊子
大日本除虫菊	金定嘉也子	松枝正明	後藤喬雄
田中 敏	祐野尚子	松枝多加子	原田隆宏
三谷 郁子	佐野哲郎	田中四郎	井上伸輔
一木 晃	神林恒道	西村真知子	南形徹
阿部由美子	岩崎弘一	駒井洋子	大西廣一
得田 栄藏	石本三千也	古川豊男	岡田安弘
三石 武男	内藤芳美	東中稜代	畠野峻
碓井 昭彦	佐竹時子	阪上弘仁	小川雄介
宮井 茂治	和田暁夫	中島勇二	
宮井 芳子	小柳陽一	下園靖子	
緒林 桂子	三浦信一郎	村上治水	
塩脇 昭司	平川美津子	井狩彌介	
塩脇 祥子	杉浦和子	野村透	
島村 猛	渡辺優子	西川保子	
松井 基純	伊藤久栄	片桐登紀子	
松井香代子	宮崎悦朗	多賀谷学	

1月7日現在
〈順不同、敬称略〉



TakaMatsu

高松建設株式会社

〒532-0025 大阪市淀川区新北野1-2-3
TEL: 06-6307-8101(代)

URL: <http://www.takamatsu-const.co.jp/>

本社・大阪本店、東京本店、東関東支店、埼玉支店、横浜支店、
名古屋支店、京都営業支店、神戸営業支店

(東証・大証一部上場)



高松コンストラクショングループ

高松建設

青木あすなろ建設

JPホーム

やまと建設(大阪) 日本建商(東京)
日本建商(大阪) 住之江工芸
やまと建設(東京) エムズ
日本オーナーズクリエット

あすなろ道路 みらい建設工業
青木マリーン みらいジオテック
大和ロック テクノマリックス
東興建設

金剛組
中村社寺
GWA総合サービス

KINCHO

金鳥カイロ
どんと

www.kincho.co.jp

いつでもどこでも ぱっかぱっか



どんと 10個入



貼れるどんと 10個入

※ミニタイプもあります



会長 岡本道雄(京都大学名誉教授)

理事 大西正文(大阪ガス株式会特別社友)

森井清二(関西電力株式会社顧問)

谷口安平(京都大学名誉教授)

吉野泰生(住友生命保険相互会社名誉顧問)

(50音順)

顧問 橋下徹(大阪府知事:申請中)

伊藤郁太郎(大阪市立東洋陶磁美術館館長)

平松邦夫(大阪市長)

梅原猛(国際日本文化研究センター顧問)

法人会員(50音順)

荒川化学工業
上井冷熱
大阪ガス
関西電力
西きんでん
小林製薬
阪野商店

サントリーホールディングス
住友金属工業
住友精密工業
住友生命保険
住友倉庫
ダイキン工業
大同ケミカルエンジニアリング

高松建設
日本通運京都旅行支店
浜田プレス工藝
林福丸
山興

高松建設
日本通運京都旅行支店
浜田プレス工藝
林福丸
山興

三井住友カード
ワコール
*
日本セルフ

三井住友カード
ワコール
*
日本セルフ

個人会員(入会順、敬称略)

松井繁一	橋本太三雄	阪野和子	神林恒道	中豊庄	八生久人	野原清秀
深田晴世	阿部由美子	森明子	岡野恵樹	岡野奥平	大堀理正	大堀理正
河野幹雄	中川泰幸	宮川泰済	岡野恵津子	岡野岡岡	久人子	中野基
河野奈津子	石上豊子	和田暁夫	杉浦修	岡西田	勇子	松井純子
福岡隆子	村木孝夫	桑名孝子	脇田修透	岡西田	祐子	松井香代子
梅原一哲	松本幸道	石光正男	野村透	大飯祐多	春子	本山道嘉
石本三千也	笠川忠士	松枝正明	佐野雅	森宮芳子	和子	山山和
田村眞也	緒林桂子	松枝多加子	今井昭	井脇昭	司子	本葉磯
竹村治彦	碓井昭彦	光成博	玉手	塩野昭	晃子	大村隆一
岸田克己	碓井みち子	高杉方	崎志	塩野昭	一子	中細井提
梅村博也	長井重龜	島弘	橋靖	塩野昭	子	村井弘
屋良正佐治	岸田多門	川島助	冠大	木塩五	守子	谷谷昭
國友正和	能田豊	坂本綽	大	木塩五	子	大満原
梅田文一	森内達治	中井武	本	木塩五	守子	大喜代志
稻垣千代子	宮井茂治	佐和子	賀熙	木塩五	朗子	原谷清典
浮田俊太郎	祐野尚子	西森文彥	陽一郎	木塩五	守子	大伊藤久
桑山弘	金定秀光	岸田孝之助	田中四郎	木塩五	朗子	谷村榮
三谷郁子	金定嘉也子	豊田成子	西田四郎	木塩五	守子	大藤巖
田中喬	中條澄	切畑敦詞	良彦	木塩五	朗子	大伊藤巖
天野康英	中嶋允子	中東富佐子	猛	木塩五	守子	谷村哲
三浦信一郎	福岡昭吉	金盛琢志	河原恭子	木塩五	朗子	大紀夫
水島敬夫	菅正徳	三石武男	原とも子	木塩五	守子	大紀雄
渡辺優子	日高穂	内藤芳美	松井とも子	木塩五	朗子	大水井敏
平川美津子	藤原啓助	小西信一郎	河原恭子	木塩五	守子	大井基純
安藤邦洋	馬場明和	佐野廣子	松井とも子	木塩五	朗子	大井基純

会費・個人会員につきましては年会費1口2万円です。

・法人会員につきましては年会費1口10万円です。

(有効期間は入会時より1年間です。
随時ご入会いただけます。)

会員の特典・年間6回の自主公演にご招待致します。(1口に付き個人各1枚、法人各5枚)

・ご同伴者は10%割引となります。

・関連演奏会のご案内又はご優待を致します。

・定期演奏会プログラムにご芳名を記載させていただきます。

・会報「ディヴェルティメント」をお送り致します。